

平成29年度 ごみ・資源物処理量

焼却処理量について

平成29年度に焼却処理された燃やすごみは11,964 t（前年度は12,515 t）で、551 t（約4.4%）の減少となりました。内訳は、家庭系ごみが11,600 t（前年度は12,138 t）、538 t（約4.4%）の減少、事業系ごみが364 t（前年度は377 t）、13 t（約3.4%）の減少となりました。家庭系ごみを市民1人1日当たり換算すると、265 g（前年度は279 g）、14 g（約5.0%）の減少となりました。

本市は、燃やすごみの処理を多摩地域の各団体にお願ひしており、施設周辺にお住まいの皆様および関係者の皆様へのご負担を軽減するため、さらに燃やすごみの減量に努めていくことが必要です。市民の皆さんと事業者の方々が、ごみを出さないライフスタイルの実現に向け、食品ロスの削減や生ごみの水切りなど、ごみ減量の基本となる発生抑制に積極的に取り組み、さらに、古紙・布や剪定枝などの資源物や不燃系ごみの分別排出を徹底していただくようご理解・ご協力をお願いします。

埋立処分量について

資源化することができない不燃系ごみの一部は、本市を含む25市1町で構成される東京たま広域資源循環組合が運営する最終処分場である、日の出町ニツ塚廃棄物広域処分場で埋立処分を行っていましたが、平成28年度からは、さらなる選別と資源化により埋立処分を行っていません。

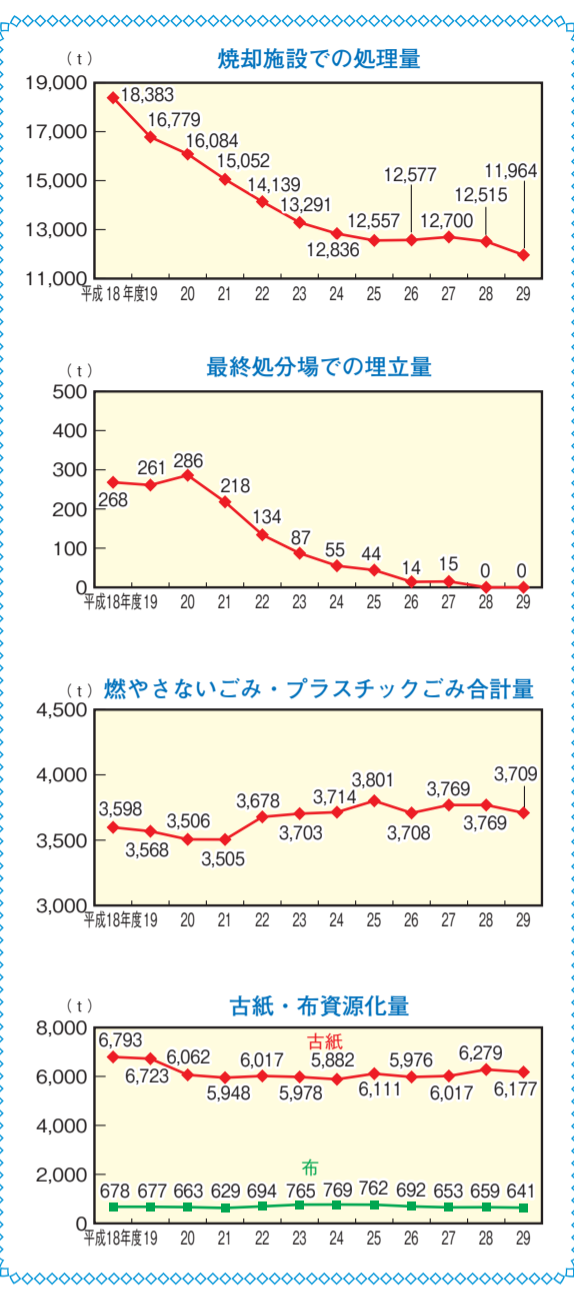
また、燃やさないごみ・プラスチックごみの収集量は、3,709 t（前年度は3,769 t）でした。

資源化について

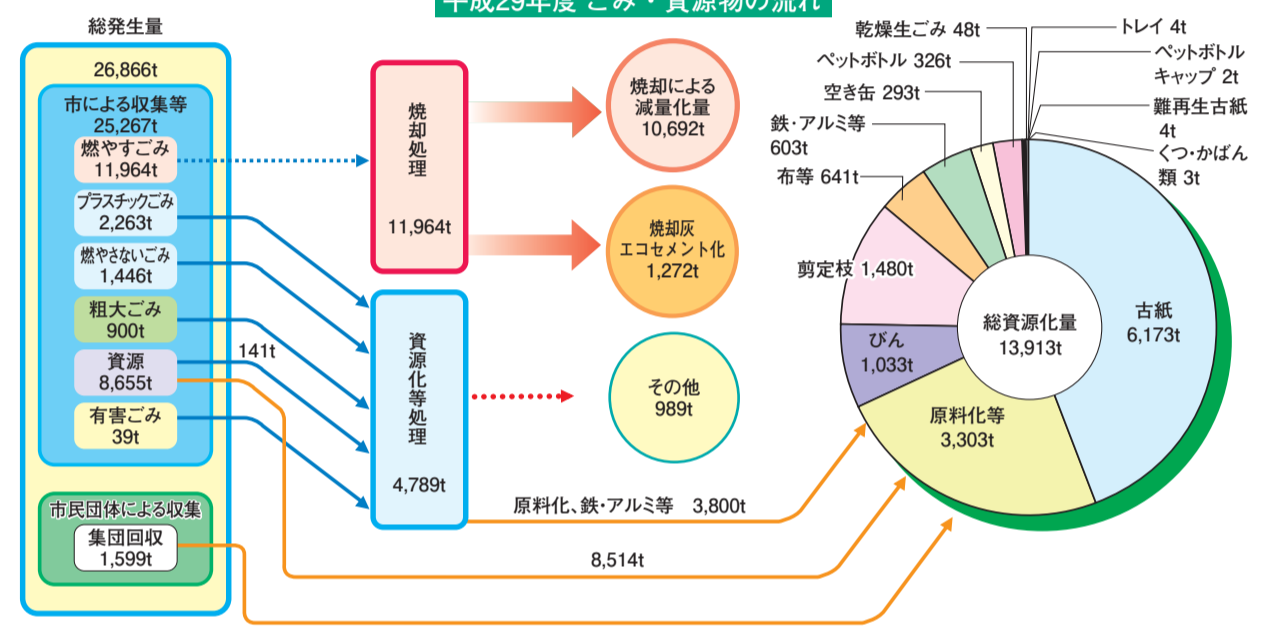
平成29年度に収集されたごみ・資源物の総資源化率は、51.8%（前年度は50.2%）でした。

また、平成29年度に資源化された古紙・布は、6,818 t（前年度は6,938 t）でした。

そのほかに、従来埋め立てられていた焼却灰をエコセメントとして再利用する事業を平成18年度から行っています。平成29年度の本市の燃やすごみの処理で発生した焼却灰1,272 tがエコセメントとなりました。



平成29年度 ごみ・資源物の流れ



夏休み生ごみ投入リサイクル事業に参加しませんか

夏休みの期間中、皆さんの家庭から出た生ごみを小・中学校に設置された電動生ごみ処理機に投入することができます。ここで投入された生ごみは、野菜や果樹を作るための食品リサイクル堆肥としてリサイクルされています。また、本事業とあわせて食用廃油や、くつ・かばん類の回収を実施する学校もあります。

各学校の近くにお住まいの方、ごみの減量や生ごみの資源循環に興味のある方など、多くの方のご参加・ご利用をお待ちしています。
※学校により実施期間などが異なりますので、詳しくは下表をご覧ください

【生ごみの持参について】

生ごみは、水切りをしてから持参するようご協力をお願いします。水切りをすることで、電動生ごみ処理機の運転時間が短くなり、節電にもつながります。

【市民ボランティア募集】

市では、本事業にご協力いただけるボランティアの方を随時募集しています。1日だけの参加も可能です。詳しくはお問い合わせください。

☎ごみ対策課清掃係（☎042-387-9835）

実施校	実施期間	実施曜日	投入時間	食用廃油	くつ・かばん類
①第一小学校	7/21(土)～8/29(水)	水・土	9:00～10:00	実施	8/8(水)
②第三小学校	7/21(土)～8/25(土)	土		-	-
③第四小学校	7/30(月)～8/10(金)	月～金		-	8/10(金)
④前原小学校	7/21(土)～8/29(水)	水・土		-	-
⑤南小学校	7/21(土)～8/29(水)	水・土		実施	-
⑥第一中学校	7/21(土)～8/25(土)	水・土	10:00～11:00	実施	8/22(水)
⑦第二中学校	7/21(土)～8/25(土)	土	9:00～10:00	実施	8/22(水)
⑧南中学校	7/23(月)～8/3(金) ※雨天中止	月～金		-	-

